

〇胃がん検診の内視鏡検査に関する条件調査集計表

	実施意向			実施予定 年度	胃内視鏡検診運営委員会の設置			読影委員会の設置			住民のニーズ把握			対応できる医療機関の把握			その他実施上の課題（自由記載）				
	実施 したい	実施困難	実施 しない		単独設置 したい	都市設置 したい	全県設置 したい	理由（自由記載）	単独設置 したい	都市設置 したい	全県設置 したい	理由（自由記載）	実施した	今後実施 予定	実施しない	理由（自由記載）		実施した	今後実施 予定	実施しない	理由（自由記載）
秋田市	○			H31	○			「単独設置したい」と回答していますが、秋田市は、現時点では秋田市医師会が主導し単独で設置することで進めていますが、将来的なことを考慮し、できれば全県統一で設置していただきたい。			○	「全県設置したい」と回答していますが、秋田市は、単独で設置可能であるものの、将来的なことを考慮し、できれば全県統一で設置していただきたい。			○	胃内視鏡検査の導入は、国の指針で胃がん検診は原則胃内視鏡検査で行うことになったことや、医師会の動向などの状況を踏まえた上で実施しようとするものであり、住民ニーズに合わせて実施するものとは考えていないため。		○ H30年度内		秋田市では、胃がん検診の大部分を秋田県総合保健事業団に委託して実施しており、事業団とは、近い将来にエックス線検査は実施できなくなる（検査バスの更新、読影医の確保等）との認識で一致しており、胃内視鏡検査の導入は必須の状況ととらえています。秋田市は、医療機関を確保でき、二重読影と検査結果通知の作成を事業団でなくてももらえれば単独で実施可能ですが、県内の状況は、実施できない市町村の方が多いと思われるので、全県統一した方法で進めていただきたい。また、胃内視鏡検査導入に当たっての県内市町村の状況を踏まえた上での、県の考えや将来的な方向性などをお知らせいただきたい。	
能代市		○					○				○				○	検診を実施する側の体制（運営委員会等）が整っていない（整う見込みがまだ無い）状況では、ニーズ把握調査をできない。			○	胃内視鏡検査を実施する予定がまだ無いため。	
横手市	○			未定	○			単独設置に向けて医師会と協議中である。	○			単独設置に向けて医師会と協議中である。	○				○				
大館市		○					○	運営委員会を設置するための技術的知識と技能がない。				○	運営委員会と同様、読影委員会を設置するための技術的知識と技能がない。			○	・住民のどのようなニーズ把握をすればよいのか県の意向を伺いたい。その内容によって検討する。 ・以前、胃がん検診のコールリコールを実施した時に、検診の受診希望や治療状況等一部の住民に確認している。		○	市単独では検診を実施出来ないため、県内全体の状況を知りたい。そのためには、県が一括して把握していただくと効率よいと考える。	医師の高齢化や医師不足の中、実施できる病院や医療機関の確保が難しい。
男鹿市		○					○				○				○	・財政及びマンパワーの面で余裕がないため			○	・財政及びマンパワーの面で余裕がないため	・X線検査との重複受診を防ぐための対策がとれるか（内視鏡は医療機関での検診のため、対象者の申告等のみでの確認になるのか、事前申し込み制にし、管理するのか等） ・保護的な検査のため、万が一胃がん（穿孔など）が生じた場合に、保障はあるのか。 ・財政上予算がとれるか（国や県のガイドラインがないと困難）。
湯沢市		○					○				○				○					○	
鹿角市		○					○	県が主体となって設置していただきたい。				○	ダブルチェックが困難なため、広域（全県）で設置していただきたい	○						○	医療機関の数が少ないため、マニュアルが求める実施が困難である。
由利本荘市			○				○					○				把握は必要と思うが、検討に至っていない。				○	実施体制、前提条件から市で検討していくことは困難である。県レベルで消化器がん部会、県医師会、検診協議会等との協議を進めていただきたい。医師不足の問題、検診体制の整備等の課題が散在している。
潟上市		○					○					○	市独自の基準を設けて、胃内視鏡検査を実施していますが、毎年200名前後の申込があることから、ニーズは高いように考えます。			○			○	市内においては、基準を満たす胃内視鏡検査を実施できる病院がないため、住民のニーズはあっても体制が整わないため実施できないのが現状です。	
大仙市			○				○	市単独での設置は困難であるため、全県単位での設置をお願いしたい。				○	市単独での設置は困難であるため、全県単位での設置をお願いしたい。			○	胃内視鏡検査の体制が整わない中で、住民のニーズを把握するには無理がある。			○	各自自治体単位ではなく、県で把握をしてもらいたい。
北秋田市		○					○	医師会、各検診機関、専門医を含む委員会となると、市単独実施は難しく、広域（全県）で設置したいと考える。				○	内視鏡画像を2重読影可能な読影委員が、十分確保できる状況である場合はイと考えるが、現時点で対象となる医師数や体制が不明である。					○		ダブルチェックがクリアできれば各医療機関へ問合せし把握することはできる。	
にかほ市		○				○				○					○				○	○	秋田県の今後の動向を踏まえた上で、由利本荘医師会や関係機関と相談したいと考えているため、現段階で対応できる医療機関の把握は実施しない。
仙北市		○					○	・市単独では、設置が難しい。				○			○	・実施体制が整っていないため、把握まで至ってない。				○	・委員会など、体制が整っていないため、把握に至ってない。
小坂町		○					○	町単独での設置は難しい。（医療機関が1つのみ、マンパワー不足、予算的）				○	町単独での設置は難しい。（医療機関が1つのみ、マンパワー不足、予算的）			○	胃内視鏡検査の実施にむけての体制がまだ不透明で、住民への説明が難しいため実施していない。			○	胃内視鏡検査の実施にむけての体制がまだ不透明なため、まだ実施していない。
上小阿仁村			○				○					○			○	・ニーズ把握方法が未確定。 ・マンパワー不足。				○	・単独で近隣の医療機関に確認することが困難。
藤里町		○				○		広域（都市）で統一した実施方法（料金含む）ができれば、検診機関の煩雑さも軽減できると思われるため。		○	○	・広域で設置したいが、医療圏により読影委員の人数に差もあるのではないかと、複数回答とさせていただきます。			○	・人間ドックで胃内視鏡を希望する方も多く聞き、ニーズはあるのではないかと思います。				○	・町内に医療機関がないため、他市町の医療機関となる。運営委員会を広域で設置希望のため、医療機関の把握も広域で実施した方がよいのではないかと思います。
三種町		○					○	全県的に胃がんの発症が多い秋田県においては、広域で早期に開始してほしい。 また、胃がん検診の集団検診の実施が、マンパワーや資源の不足（検診車）により従来通りの方法では実施困難な状況にあります。近隣の中核的病院に依頼しても専門医の確保（マンパワー不足）が難しい状況にあるように感じる。				○			○	実施の予定は今ところないが、無料受診券・クーポン券事業を実施し、50歳代の方への受診勧奨（バリウム検査）をすると「胃内視鏡検査をしている。バリウム検査だと無料でもな〜。」と言う声が多く聞かれた。				○	胃内視鏡検査を実施している医療機関は限られている。各市町村から同一の調査を行うのは医療機関の負担も大きく、非現実的である。
八峰町		○					○	単独では困難であるが、当町の受診者は、都市だけでなく秋田市医療機関での受診者もいる為、広域（全県）での設置を希望します。				○			○	一部医療機関の人間ドック健診で、任意検査として内視鏡検査を実施している数値を把握している。				○	運営委員会が設置された場合に、運営委員会が対応できる医療機関を把握することを希望します。
五城目町		○				○				○					○	実施できる体制が整っていないため			○ H30.10		
八郎潟町	○			未定		○	○	単独の実施は委員の確保等、困難であるため、広域での実施を希望する と症例数が多くなりすぎるため、イを希望した。		○		単独での実施は難しいので広域での実施を希望するが、全県となると症例数が多くなりすぎるため、イを希望した。			○	いずれ実施は必要と感ずるが、具体的な部分がまだ検討されていないため、ウと回答した。			○ 時期未定		
井川町		○					○	町外で受診する人が多くいるので、受け皿は広いほどいいと思う。				○	同左。			○				○	県主導で行ってほしいです。
大潟村		○				○				○					○					○	
美郷町		○				○		単独では非効率であり資金的、人的にも設置が困難。				○	単独で複数の読影委員を確保するのは困難のため。		○ H30.12				○ H30.10		
羽後町		○					○	運営方法等を全県で統一できる		○	○			○ H30年度						○	県や地域振興局で取りまとめてほしい
東成瀬村		○					○	村単独、郡市では負担が大きいと思う。また、2次医療圏を越えて受診している方も多く、全県的な設置が望ましいと思う。				○	全県でみると、市町村によって医師数に偏りがあるため、全県での設置がよいのではないかと。			○	マンパワー不足、他に優先させる事業があるため、実施できない状況。ニーズを把握するデメリットとして、住民に期待を持たせてしまうのではないかと懸念がある。			○	実施できていないが、村内にはない状況。
合計	3	19	3	3	2	6	18		1	6	20		2	2	21		1	6	19		